



豊かな子

創造的な実践力に富む、心豊かで、たくましい子どもの育成

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



れんらく表がもつ3つの大切な意味

10月8日に前期の終業式を迎えます。子どもたちが日々の学習や学校生活で見せた成長の姿を、大変頼もしく感じています。

さて、学期末にお渡しする「れんらく表」は、単なる「成績の記録」や「評価」のためだけのものではありません。子どもたちや保護者の皆様にとって、非常に重要で温かい意味が込められています。今回は、れんらく表がもつ3つの意味についてお伝えします。

1. 学校での様子の把握

れんらく表には、基準に則った記号での評価に加え、担任が日頃の観察をもとに「授業への取り組み」「友達との関わり」「集団での役割」などを文章で記載する「学校から」の欄があります。ご家庭では見えにくい学校での輝きや成長の様子を、担任の目線を通してお伝えする貴重なお便りです。

2. 学びの到達度とつまずきの確認

教科の評価は、目標に対する客観的な到達度を示しています。評価の良し悪し以上に、「どの分野に強みがあるか」「どこでつまずきやすいか」を正確に把握することが大切です。得意な部分を伸ばし、課題に対する必要なサポートを見極める指針となります。

3. 親子の対話とサポートのきっかけ

一番の目的は、結果に一喜一憂することではなく、これからの成長に向けた「前向きな対話」を生み出すことです。れんらく表を囲みながら、まずは頑張ったことや努力の過程をしっかりと認め、褒めてあげてください。そして「次はどんなことを頑張りたい？」と未来に向けた声をかけ、温かいサポーターであることを伝えるきっかけにいただければ幸いです。



銀皿賞 おめでとう！

9月19日に行われた「のんのか祭り」において、諫早小学校5・6年生が『銀皿賞』に輝きました。金皿をねらっていた子どもたちは悔しかったことと思いますが、毎年のように入賞していることはすごいことです。録画していたケーブルテレビの放映を見ましたが、ひいき目なしに見ても諫小の踊りは『ぴかいち』でした。

なお、祭り直前にはインフルエンザ拡大防止のために学級閉鎖の措置を取りましたが、連休明けの感染状況は落ち着きました。9月29日の全校の病欠数は6人で、インフルエンザ感染症は0です。しかし、今後も油断せず、手洗い・うがい・睡眠・栄養を心がけていきましょう。